

# ●刈払機が木に当たらないように

なぜ？

カタログの中には、刈払機で細い木を切ることができると説明があるものがあります。しかし、刃の当て方によっては刈払機が跳ね返されたり、木が自分の方に倒れてきたりすることがあります。

## ヒヤリ、事故

1. 草刈り中、灌木を伐った時、刈払機の棹が思わぬ方向に振り回された。周りに人がいなくてホッとした。
2. 草刈り中、不用意に右へ振ったら刃が木の幹に当たり、反動で足元に刃が向かってきた。
3. 竹藪の間引きのために刈払機を使っていた。大きな竹だったので、二度切りをした。根本の部分で切っている時に上部が顔に当たった。
4. 草刈り中、刃が土手に当たり跳ね返り左足に当たった。
5. 刈払機の肩掛けバンドを外して作業していた。刈刃が地面へ触れ、足元で跳ね返されびっくりした。



そこで…

## 対策ポイント

1. 一般的な刈払機は刈刃が反時計回りに回転します。そのため、右側で刈ると作業側側に跳ね返されて(キックバック現象)、刈刃と接触する恐れがあります。必ず左側で刈ります。
2. 刈刃を岩、石、切株等障害物に接触させると作業側側に跳ね返される恐れがあります。刈刃を木へ押しあてたり、地面へ食い込ませないように注意します。

さらに！

## 追加のヒント

1. 跳ね返されるのを最小限にするため、肩掛けバンドに接続して使用します。
2. 障害物に接触した場合は刈刃が損傷していることがあるので、必ず点検します。